

Mojiko Art Research Center Summer Exhibition

想 心 sou

松浦孝 テラコッタ彫刻展

Takashi Matsuura

Terracotta Sculpture Exhibition



二〇一二年以降の作品と

新作「いのりちゃんシリーズ」まで

2018. 7.1 sun - 29 sun

月曜休館 開館時間10:00~17:00

観覧料 無料

門司港美術工芸研究所
Mojiko Art Research Center

〒801-0853北九州市門司区東港町6-72港ハウス 2F
TEL:093-322-1235・FAX:093-322-1236
<http://www.mojiko-biken.com>

The spirits of beauty 美の精霊たち

門司港の地が生まれる



1



2



3



4

松浦孝は1973年(昭和48年)北九州市門司に生まれ、現在も門司港を拠点に活動を続けているテラコッタ造形家です。

東京造形大学、筑波大学大学院で現代具象彫刻を学び、大学2年次に制作した裸婦像《ARIMA》が筑波市に買い上げられ、サザンクス筑波にブロンズ像が設置されました。その年に学生結婚し、娘が生まれます。

順調なキャリアのスタートに思われましたが、しだいに彫刻という枠組みの中で表現することへの息苦しさを感じはじめ、自らの表現を模索し続けるが在学中に答えを見いだせず、長いスランプの時期が続きます。

大学院修了後は、商業美術の分野で活躍。ロックワークと呼ばれるモルタルによる振岩造形の分野で才能を発揮し、東京ディズニーシーの建設では、その仕事が評価され優秀な職人として表彰されます。

職人としての評価が高まる中、息子が誕生するも離婚、父子家庭となり二人の子供を連れ2003年故郷門司港に帰ることになります。

のちに松浦はこの頃のことを「誰にも会いたくなく、はやく門司港から逃げ出したい苦しい時期であった」と語っています。

2004年の北九州市立美術館・アネックスでの個展を契機に、松浦は学生時代に成し遂げられなかった自らの表現の探求へ再び向き合うようになります。

同展で発表した《花の見る夢》は大胆にデフォルメしたボディの繊細な少女の像で現在の松浦作品に通じる最初の作品であり、同年に同美術館に所蔵されました。

2006年から「門司港アート村」で5年間、2011年から「門司港美術工芸研究所」で4年間の計9年間、門司港の高台にある旧庄司小学校跡のアトリエで制作に没頭。

テラコッタの技法を陶芸家であった現在の妻に学び、個展、グループ展を多数開催するようになります。

めぐりめぐる自然の移り変わりや、門司港の小さな山や海峡、まちやそこに住む人々が一瞥できる場所での制作体験を通じて、しだいに門司港という場所を愛おしく感じるようになっていったそうです。

この時期から、幼少期に抱いていたアニミズムともいべき感覚を思い出します。「あらゆるものに意識がある」との感覚を幼き頃持っていた松浦ですが、義務教育の過程で「常識」の名のもとに自ら封印していました。

大学生、社会人として関東での生活の中で忘却していたその感覚が、門司港での創作活動を続けるなかで再び蘇ってきたそうです。

そんななか、ある山の存在感が日に日に増していきます。

その山は「三角山(みすみやま)」

アトリエに通う道で毎日目にしていたこの山は、幼き日には無きYMCA信愛幼稚園に通園しているときに母に手を引かれながら見ていた山だそうです。

「あの山に触れたい」との想いが極まった満月の夜、ふいに黒いシルエットの山に向け手を合わせると、手のひらに「山」の存在を感じたそうです。

この体験から生まれたのが作品《夢ノ月ヲ想フ》であり、現在人気の《いのりちゃんシリーズ》の原点となる作品です。

「手を合わせるということは、想いを寄せるモノたちと自分が触れ合い一つになるための行為ではないだろうか」と松浦は語っています。

本展覧会では、2011年以降の作品と新作の《いのりちゃんシリーズ》で構成され、門司港の地に想いを寄せ彼のフィルターを通じて姿を現した門司港の「美の精霊」たちが会場に行んでいます。

展示会場である「門司港美術工芸研究所」は2016年に門司港レトロ地区に移転した。松浦は4月より同研究所で所長代理を務めています。

ぜひ「三角山」を望むこの場所にお越しいただき、「美の精霊」たちとの出会いと対話をお楽しみ下さい。

1. 《夢ノ月ヲ想フ》(部分)
2. 《いのりちゃん〜ついきのうのこと〜》
3. 《いのりちゃん〜晴ノ日ヲ想フ〜》
4. 《いつか見た花》
5. 《mico》
6. 《女神》(部分)



5



6

関連イベント

風の音を紡ぎ 祈りの音を奏でる

wind rumor ギャラリーコンサート / 7月8日(日) 14:00~
観覧料: 無料

松浦孝と親交の深いアコーディオンとギターデュオユニット
心象風景をオリジナルの楽曲で表現
無国籍ノンジャンルの安らぎのサウンドは全国のファンを魅了している

♥ ワークショップ・素焼きに絵付け体験

松浦孝の制作した素焼きの作品にアクリル絵の具等で絵付けします

体験料: 500円~

随時開催

※毎週金曜日はお休み



♥ アートマート

毎年元旦に門司港の氏神《甲宗八幡宮》で販売される人気の干支シリーズをはじめとする松浦孝制作の「小さいものシリーズ」や「原画」「ポストカード」などを展示即売します



♥ マツウラ・カフェ

展示期間中、松浦孝が自ら「てびき・ハンドドリップ」で一杯づづコーヒーを点てます。珈琲の香りに包まれながらアート鑑賞、アート談義をお楽しみください。
※毎週金曜日はお休み



門司港美術工芸研究所

〒801-0853 北九州市門司区東港町6-7 2階ハウス2F

TEL:090-322-1235・FAX:093-332-1236

開館時間 / 10:00~17:00

休館日 / 月曜日(祝日の場合は開館)・年末年始

<http://www.mojiko-biken.com>

